

令和5年第9回 新座市教育委員会 定例会
会 議 録

招集期日	令和5年9月28日 午後3時			場所	市役所本庁舎304会議室			
開閉日時 及び宣告者	令和5年9月28日 午後2時55分 開会			宣告者	金子 廣志			
	令和5年9月28日 午後3時45分 閉会			宣告者	金子 廣志			
教育長	金子 廣志							
委員	議席番号	氏 名		出・欠	議席番号	氏 名		
	1	鈴木 松江		○	2	小泉 哲也		
	3	脇田 美保子		○	4	宮瀧 交二		
出席職員	①教育総務部長		○	②教育総務部副部長兼生涯学習スポーツ課長		○	③教育総務課長	
	④中央公民館長		○	⑤中央図書館長		○	⑥歴史民俗資料館長	
	⑦学校教育部長		○	⑧学校教育部副部長兼学務課長		○	⑨教育支援課長	
	⑩教育相談センター室長		○					
	事務局 戸川真理子、城間悦子							
会議事件名	発 言 者		発 言 の 要 旨					
開会	教育長		令和5年第9回新座市教育委員会定例会を開会する。 午後2時55分					
会議録承認	教育長		令和5年第8回新座市教育委員会定例会及び第4回臨時会の会議録の承認について質疑はあるか。					
	各委員 教育長		承認 令和5年第8回新座市教育委員会定例会及び第4回臨時会の会議録は承認された。					
議案第30号	教育長		議案第30号「教育委員会の事務に関する点検評価報告書について（継続審議）」を教育総務課長から説明願う。					
	教育総務課長		第7回教育委員会定例会において、令和4年度新座市教育行政推進施策のうち、教育委員会が所管する15施策79事業について、所管課の一次評価の結果をお示しした。その後、教育委員の皆様方には5つの基本目標に対して二次評価を検討していただいたので、本日は最終的な二次評価の決定をお願いしたい。 なお、今後の流れとしては、一次及び二次評価を踏まえ、5名の学識者の皆様から御意見を頂いた上で、議会に提出する報告書を作成し、教育委員会定例会でお示しするので、最終的な報告書の完成まで継続審議としていただきたい。					
	教育長		教育委員会の事務に関する点検評価に係る二次評価について、基本目標ごとに確認をしていきたい。それぞれの評価を担当された委員に読み上げていただき、説明などを添えていただければと思う。 それでは、「基本目標1 家庭や地域が一体となった就学前教育の推進」を脇田委員から願います。					

<p>委員</p> <p>教育長</p> <p>委員</p>	<p>「新型コロナウイルス感染症の影響の残る中にも、小一プロブレム解消のための幼保小の連携は、学校内での交流や動画・オンラインを使って実施することができた。園児が期待や興味を持って入学するためには効果のある交流事業であるので、実施方法を検討し、進めていく必要がある。</p> <p>児童発達支援センターや児童発達支援事業所との連携は、発達の遅れや障がいのある児童ばかりでなく、地域の子供たち全般の相談や療育などの支援に大きな役割を果たしているので、児童や保護者の心の拠り所として色々な情報を共有して支援を行っていききたい。」</p> <p>続いて、「基本目標2 生きる力の育成と質の高い学校教育の推進」を鈴木職務代理からお願いする。</p> <p>『令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、学校教育活動がおおむね平常に戻りつつあったことは幸いである。</p> <p>そういう中で、「体験的学習・キャリア教育の積極的な推進」においては、不特定多数の市民と接することから、中学生の職場体験活動が実施できなかった。中学生にとっても体験活動の有効性は大きいですが、多くの職場の提供と準備を必要とする職場体験活動の実施における課題も明らかになり、今後の実施に向けて改善が必要である。</p> <p>一方で本市の特徴とも言える、学校教育農園や学校教育林が積極的に活用され、小中学生の体験活動が確保されたことは大変有意義であった。</p> <p>「学校給食の充実」に向けては、各学校が地元食材を取り入れた献立等を工夫し、児童生徒に地元農業や食に関する興味関心を高めている。一部食器洗浄機やスチームコンベクション等大型備品を計画的に入れ替えることができたが、依然として既に耐用年数を超過している機器が学校に多数あることは憂慮すべきことであり、入替計画の精度を高める必要がある。</p> <p>「特別支援教育の充実」においては、特別支援教育コーディネーターの役割を明確にし、校内の支援体制を整え、支援を必要とする児童生徒に一層適切に対応することが求められる。現在、軽度の障がいのある児童生徒に対して、通級指導教室2校、きこえとことばの教室1校を開設して個別の指導を行っているが、必要度も保護者の要望も増していることから、今後も増設に向けて取り組んでいく必要がある。</p> <p>「学校・家庭・地域の連携」においては、市内全小中学校がコミュニティ・スクールとして機能し、児童生徒のよりよい教育環境づくりを進めていることは有意義である。</p> <p>また、学校施設を活用して開設されている週末の「新</p>
--------------------------------	--

	<p>教育長 委員</p>	<p>座っ子ぱわーあっぷくらぶ」と共に、子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）が市内全小学校17校で実施されていることは大いに評価できる。</p> <p>学校施設の開放では、市内17小学校及び3中学校の学校施設をスポーツ団体に開放しているが、新たに幼児・児童等を対象に市内全小学校の校庭を遊び場として開放したことは、画期的であり、今後は更に開放する時間の拡大が望まれる。</p> <p>「学校における文化芸術」の推進においては、芸術性を高める上において一層市としての支援が求められる。』</p> <p>続いて、「基本目標3 心豊かで健全な青少年の育成の推進」を小泉委員から願う。</p> <p>『平成14年度に開設された「新座っ子ぱわーあっぷくらぶ」は、文化系、学習系、スポーツ系とバラエティーに富んだ27の講座の開設により今年度も積極的な事業推進がなされた。子供たちの安心安全な居場所づくりの確保の観点で定着している点は大いに評価できる。前年に比べ登録数、参加率は増加したが、開設講座が年々減少している点を重視し、この事業の更なる充実発展のための指導者や団体との調整を図り、今後の方向性を改めて検討すべきである。</p> <p>子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）は、放課後下校せずに学校の敷地内で過ごすことのできる子供の居場所の観点で、勉強、スポーツ、文化活動、地域との交流活動の取組の活動拠点として市内小学校全17校開設3年目を迎え、定着してきていることはとても評価できる。また、参加する児童、預ける保護者の関心や評価は高く、大いに成果を上げている。</p> <p>今後は、各学校の現状に合ったコーディネーター及びスタッフの確保・配置と、働く環境の整備を推し進める必要がある。</p> <p>読書量が減少しがちな青少年を対象に、第3次新座市子ども読書活動推進計画に基づき、ティーンズコーナーの充実を図るため、多くの図書を購入したことは大いに評価できる。今後は、啓発活動を積極的に推し進め、青少年の読書の更なる習慣化を目指し、図書館の利用促進を図りたい。』</p> <p>「基本目標4 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の充実と地域の歴史・伝統・文化の継承」は、宮瀧委員が担当されたが、本日欠席のため、私が代読させていただく。</p> <p>「令和4年度は、コロナ禍が続く一方で、新座市においても旧来の市民生活を取り戻しつつある時期であったとも言えよう。パンデミックの渦中であって、市民生活の中には、かつてない様々な不安が去来したが、そのような不安を払拭するための“安定剤”として大きな役割</p>
<p>教育長</p>		

教育長

を果たしたのが、まさに生涯学習・スポーツ・文化芸術活動であったと評価できる。新座市の生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の推進に関与した教育委員会の担当部署、そして実際にこれを推進した市民の労を多とし、改めて敬意を払うものである。

具体的な事業としては、数年来準備を重ねてきた歴史民俗資料館のリニューアル開館が令和5年4月1日に決まり、その開館準備が粛々と進められてきたことは大いに評価されよう。市民が自らの手で、新座市の文化遺産・自然遺産を次世代に継承していけるような体制が着々と整備されていることを喜びたい。また、各公民館の活動もコロナ後の新たな活動を見据えた新しいスタイル（オンラインの活用等）の模索とともに進められており、令和5年度へと続く貴重な“助走期間”となったのではないだろうか。

社会教育は、新規事業の立ち上げ等も重要であるが、一方で、既存の事業を堅実に推進していくことが最も重要である。その意味において、令和4年度は、令和5年度へとつながる社会教育活動を推進できた点は評価に値する。」

「基本目標5 教育施設の整備・充実の推進」は、私が担当させていただいたので、読み上げる。

『新座市の特徴は、昭和40年～50年代にかけて急速に人口が増加し、学校施設が毎年のように建設されたところにある。明治の学制発布によって開校した3校(大和田小・片山小・西堀小)が昭和40年まで続いたが、昭和41年に第四小学校が市内四番目の小学校として開校し、それ以来次々と新設が続いた。したがって、学校施設の改修を進めるに当たっては、短い期間で全ての学校の改修を終えなければならない状況となっている。こうしたことを踏まえ、第四小学校の長寿命化改修工事の基本計画策定や、第二中学校の長寿命化改修実施設計業務委託が進められたことは大いに評価できる。今後の長寿命化改修も計画的に推進していく必要がある。また、地球温暖化の影響もあって体育館の空調整備が強く要望されていたが、全ての中学校の体育館の空調設置工事設計委託が実施されたことも評価できる。生徒増による給食食数の増加と、最新調理器機の導入を図るため、懸案であった第二中学校の給食室増改築工事が実施されたことは、食育新座を進める上で適切な工事であった。学校施設の安心・安全を確保するため、屋上防水や学校要望に基づく計画的な改修に予算を有効に活用することは今後も継続すべきである。

2021年度の学校情報機器整備において、新座市は小・中学校共に全国第一位を獲得したが、その後においても計画的に整備を進めたことは評価できる。また、イ

諸報告		<p>インターネット回線の充実にも力を入れ、1校当たり1Gbpsを確保したことは、ネット上のトラブルを防ぐだけでなく、C B T実施に向けた環境を確保することができた。</p> <p>教育だけでなく社会全体がデジタル化の方向に変化している中で、活字文化の環境整備に力を入れていることは市民ニーズにも合致している。学校図書館や中央図書館の充実に力を入れ、充足率の向上を図ったことは評価できる。また、コロナ禍で容易に外出できない状況の中、電子図書館の充実が図られ、貸出数や蔵書数の増加がみられたことは市民サービスとしても適切であった。</p> <p>令和4年度事業において特出すべき事業は、令和5年度当初開館予定の保健センター・歴史民俗資料館複合施設の建設である。施設が老朽化し、展示スペースも手狭になった歴史民俗資料館の新設は、教育委員会の懸案事項であった。建設に当たっては、展示スペースの工夫を行い、デジタル・サイネージを採用するなど市民に親しまれる資料館となるよう工夫したことは評価できる。今後、多くの市民に親しまれる施設となるよう広報活動や企画展示を実施していただきたい。</p> <p>スポーツ施設整備では、大和田多目的運動場の整備事業を行ったが、生涯スポーツの振興に伴うグラウンド不足を補う上でも有効であった。公民館等の生涯学習施設においては、老朽化が進行し、改修箇所も増大している。施設改修や工事委託の件数及び予算も増えていることから、早期の大規模改修が望まれるところである。』</p>
	教育長	<p>全体を通じて補足の説明や意見等はあるか。</p>
	教育相談センター室長	<p>基本目標2の「施策12 特別支援教育の充実」に関して、通級指導教室を増設する計画があるが、教育相談センター室長から説明願う。</p> <p>通級指導教室については、令和5年度から野寺小学校に新設し、現在は市内3校に設置している状況である。このうち、きこえとことばの教室は、八石小学校に設置されているが、人数の増加や北部の児童の通いやすさを考慮し、令和6年度は、新開小学校に新設する予定である。</p>
	教育長 各委員 教育長	<p>他に意見等がなければ、二次評価は、こちらで決定としたいが、よろしいか。</p> <p>承認</p> <p>それでは、本日の二次評価を踏まえて、学識者の方々の講評を頂き、最終的な報告書を取りまとめる。本議案は、引き続き継続審議としたい。</p>
	教育総務課長	<p>3件の報告をする。</p> <p>①新座写真クラブ交流会から申請のあった『第26回「わが町にいざ改め美しき新座」写真展』を始めとして、計7件の事業に対して名義後援を承認した。</p>

	<p>中央図書館長</p> <p>教育支援課長</p>	<p>なお、千体地蔵尊御開帳実行委員会から申請のあった「千体地蔵尊御開帳」については、宗教行事であり、名義後援の承認基準に合致しないため、不承認とした。</p> <p>②令和5年度「新座の教育」を作成したので、後ほど御一読いただきたい。</p> <p>なお、33ページに掲載しているにいぎ生涯学習プランの上部に「育もう 豊かな心」とあるが、「はぐくもう 共に生きる力と豊かな心」の誤りのため、大変申し訳ないが、差し替えをお願いします。</p> <p>③令和5年第3回新座市議会定例会の概要について報告する。会期は本年8月30日(水)から9月27日(水)までの29日間で、市長提出議案は追加議案を含め22件であった。このうち教育委員会関係の議案は、補正予算及び令和4年度決算である。</p> <p>補正予算第7号は、教育費の主な歳出として、小学校施設整備費、小学校改良改修工事費を計上した。補正の結果、予算総額における教育費の占める割合は10.62%となった。</p> <p>令和4年度一般会計決算の認定については、歳出総額が625億7,290万3千円、そのうち教育費が70億916万9千円で、教育費の占める割合は11.2%であった。</p> <p>また、今議会の一般質問は、25名から質問通告があり、教育委員会関係は18名から45件であった。</p> <p>「令和5年度図書館要覧」を配布した。この要覧は、新座市立図書館の概要及び基本的な統計のまとめになっており、令和4年度の図書館資料の所蔵状況や利用状況、年間の講座等の実施状況等を掲載したものである。後ほど参考までに御覧いただきたい。</p> <p>諸報告の前に、委員の皆様には、9月16日(土)に開催された中学校の体育祭に御出席いただき、感謝申し上げます。新座中学校と第二中学校は、9月21日(木)に延期となったが、全ての中学校で無事開催されたことを報告する。</p> <p>教育支援課からは3件の報告をする。</p> <p>①令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について報告する。本調査は、4月18日(火)に小学校6年生と中学校3年生を対象に全国一斉に実施したものである。今年度は小学校で国語と算数の2教科、中学校で国語、数学、英語の3教科の調査が実施された。</p> <p>新座市の結果をお手元に配布した。市や県の平均正答率は正数での公表とされ、国の平均正答率のみ少数第一位までの公表とされている。これは詳細な正答率の比較により、各都道府県の順位にのみ注目するのではなく、</p>
--	-----------------------------	---

自校の児童生徒の各教科における指導事項の定着度を丁寧
に分析し、各校の授業改善に生かすことが大切である
ということを強調されているものである。

小学校の平均正答率は、県や国とほぼ同程度の結果で
あったが、国語では話すこと、聞くことの正答率が高く、
書くことに課題があることが分かった。算数では、数の
変化と関係を問う問題の正答率が高く、データを活用し
て解答する問題に課題が見られた。

中学校の平均正答率も県や国の正答率と大きな差はな
かったが、令和4年度と比較すると、国語、数学とも差
が縮まっていることから、各校での授業改善の成果が見
られた。一方で、国語では情報の扱い方、数学では数と
式の領域に、また英語では聞くことの領域に課題がある
ことが分かった。

正答数の分布を示したグラフを御覧いただきたい。各
教科とも上位層が若干少ない状況が見られるが、全体的
にはおおむね県や国と同じ傾向にあることが分かる。一
方で、正答数が2問以下の割合が若干ながら高い傾向に
ある。引き続き個に応じた指導を充実させる必要がある
と言える。

なお、質問紙調査の結果からは、先生が自分の良いと
ころを認めてくれていると回答した割合が、小学校、中
学校とも90%を超えており、これは国と比較しても高
いことが分かっている。児童生徒との信頼関係により、
指導の効果が高まることが期待される。

②令和5年度埼玉県学力・学習状況調査の結果につ
いて報告する。今年度は5月10日(水)に、全校CBT
(Computer Based Testing)で1人1台端末を使って実
施された。この調査は、小学4年生から中学3年生まで
の児童生徒を対象とし、6年間の学力の伸びを確かめる
ことができるものである。小学生は国語、算数の2教科、
中学1年生は国語、数学の2教科、中学2年生と3年生
は国語、数学、英語の3教科について調査をしている。

本年度の結果について、お手元の資料を御覧いただ
きたい。本調査では、学力のレベルを1から12までの
12段階に分け、さらにそれぞれのレベルをAからCま
での3段階に分けて学力の伸びを測定している。数値が
大きいほどレベルが高く、また各レベルの中ではA、B、
Cの順に学力が高いことを示している。平均正答率に注
目してみると、中学1年生の国語と中学3年生の英語以
外は県の数値を下回っているものの、学力のレベルに注
目してみると、全ての学年、教科で県と同じか1段階の
差を維持している。

昨年度からの学力の伸びに注目してみると、ほとん
どの学年、教科で県と同程度に伸びていることが分かる。
ただし、中学2年生の国語は、令和4年度からの伸びが

	<p>教育相談センター室長</p>	<p>見られなかった。県の状況を見ても、1段階しか伸びていないため、差は1段階ではあるが、中学1年生の国語の指導に改善が必要であることが分かった。各学校には、学校全体の傾向を把握しながら、学年別、学級別、また児童生徒一人一人の状況を丁寧に分析して把握し、各学力層の児童生徒一人一人を確実に伸ばすことのできる実効性のある学力向上プランの作成をお願いしている。</p> <p>教育支援課としては、学校訪問の機会を中心に、実際の授業の様子や児童生徒の学習の状況を把握し、引き続き各校の授業を支援していく。</p> <p>③令和5年9月までに文化面で表彰された児童生徒について報告する。英語弁論・暗唱大会では、第六中学校の下村さんが朝霞班大会で3位に入賞した。また、第二中学校の平塚さんと第六中学校の長瀬さんは、全国中学校放送コンテストの朗読部門で全国の上位30名に残り、中でも平塚さんは準優勝に相当する優秀賞を受賞し、9月22日（金）に市長を表敬訪問した。</p> <p>令和5年度1学期における長期欠席児童生徒数について報告する。30日以上休んでいる不登校児童生徒数が、既に1学期の時点で小学校は64名で、昨年度より8名増となっている。中学校は143名で、昨年度より1名増となっている。資料のグラフを御覧いただくと、低学年から不登校傾向の児童が増えていることや、現在の中学2年生と小学6年生が、昨年同時期と比べて非常に増加していることが分かる。現在、原因を分析しているところだが、主なものとして、小学生、中学生ともに生活の乱れや親子の関わり方などが多く、特に中学生になると、友人関係の問題や学業の不振なども挙がってきている。</p> <p>年々対応の複雑化、長期化が進む中ではあるが、学校や関係機関で一人一人の状況を丁寧に把握し、その子に応じた対策を立てることが重要であると本日の校長会でもお伝えした。学校に復帰することのみが目的ではなく、その先の支援に向かうためにも、学校で児童生徒支援シートに現段階の状況や支援内容を記録し、継続的に支援がなされるよう今後も指導していく。また、学校以外の居場所づくりやスクールソーシャルワーカーなどを活用した家庭との連携にも引き続き努めていく。</p>
	<p>教育長 委員</p>	<p>諸報告について、質疑等はあるか。</p> <p>教育支援課から報告があった文化面でのコンクール受賞に関してだが、私は、新座市の文化度を高めていくことを常に願っている。このように子供たちが文化面でチャレンジしたり、表彰されたりすることは、まち全体の文化度を上げていくことにも繋がるので、大変素晴らしい</p>

<p>その他</p>	<p>教育長 委員</p>	<p>いと思う。運動部の場合は、定期的に大会が組まれていることが多いが、文化面の場合は、市や学校が情報を得て応募したりしていくのだと思う。学校は大変忙しい中、手が回らないということもあるかと思うが、子供たちの良いところやこれから伸びる才能をキャッチする場を増やしていただけるとありがたいと感じた。</p> <p>その他、全体を通じて何か意見等はあるか。</p> <p>第五中学校の体育祭に出席した。非常に暑い中であつたため、プログラムの真ん中に当初予定していなかった一斉休憩を入れており、大変素晴らしい判断をされたと思った。また、武道場に冷房が入ったということで、急遽そちらを保護者に開放していた。多くの保護者の皆様が武道場で涼んで、御自身のお子さんの出番の時に校庭に向かうという状況であつた。今後、全ての学校の体育館に冷房が設置されるということのため、うまく活用していただきたいと思う。</p> <p>他の中学校でも冷房の入った体育館を開放して、保護者が休憩できるように対策を取っていた。大変快適な空間になっており、とても良かったと思う。</p>
<p>閉会</p>	<p>教育長</p>	<p>他になれば、次回の会議日程を確認する。令和5年第10回定例会は10月25日（水）午前9時30分から中央公民館で開催する。また、引き続き、午前10時30分から教育懇談会も開催する。</p> <p>これをもって、令和5年第9回新座市教育委員会定例会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">午後3時45分</p>

以上、会議の顛末を記載し、その相違なきことを証するため署名する。

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

書 記